

東由利町報

No.298 昭和55年1月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日発行

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康なくらし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



No 298

語りみて、お慶びと申しあげます



昭和五十五年元旦

ではなく、水田を他作物えの再編成というのでありますから容易ならぬ事業であります。全国農協中央会では、将来、水田の三分の一、八十万haを再編しなければ食管維持が難しいと判断しているようですね。この様な事態に町、農協が一体となり、農家の理

中に完成、外縦継三本、新規県営二本、町営一本を計画しております。各種の制度を活用し道路改良を全町的に展開しておる訳であります。

次に小学校の危険校舎改築統合問題であります。県内に本町の様な老朽校舎

新年の御挨拶

町長 小松

八十年代という言葉を耳にし、口にしてきましたが、現実に一九八〇年を迎えるました。

年頭に当りまして、皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。

あと二十年経つと二十一世紀を迎えることになります。

又、百年さかのぼつてみると一八八〇年の翌八一年に国会が開設されています。今日の政情からも感慨深いものがあります。

本町が当面する重要な課題を申しますと、第一に水田再編であります。水田再編という字句の如く、単なる休耕転作

路線共全部国費県費がついておりますし、農道も素晴らしい進歩をみせております。石高農道、根小屋農道一期は本年

昭和五十五年、千九百八十一年が多難な年であればある程前途の希望を大にして進んでいきましょう。

新年を迎えて

議会議長 長沢 毅

年末の紅白歌合戦から除夜の百八ツの鐘を聞き深夜放送の洋画を見て、床に就くのが二時過ぎ、正月は從つて八時過ぎ起床と此の頃続いている年中行事です。

一九七九年も八〇年と年が改めれば、今年こそ良い年であつて欲しいと淡い期待を持つのですが、残念ながら暗い

二つですが、残念ながら暗い

町内には、誘致工場を我が

町にとの強い要望があるが掛け声だけで、何等建設的な意見は出て来ない。町民の中には見切をつけた他町へ職を求めて転出して行く今日此の頃である。

町には豪華な建物が次から次と建設されるが、人口流出

ニュースの連続では、明るい話題も出て来ない。

水田利用再編対策会議では、拳銃譲譲の議論があつても最

後は長い物に巻かれろで、当局に宣しくお願ひしますで、

の歯止めになるのだろうか?

高額の補助金が貰えるから町の持ち出しが少ないというも

考へているのだろうか?

町民も競つて新築家屋の建築に夢中の様だが、借金の償還金に追われる様に例年の出稼ぎ生活。毎日の生活も、どっぷり石油浸しで、石油の値上がりで一喜一憂、こんな事で良いのだろうか?

何か町民の不満を甘い餌で方向をそらされている様な気がしてならない。

これから低所得、高物価の逆転現象に、耐乏生活の覚悟をしつかり決めて頑張りましょう。

次に、交通流通の問題であります。今、全町全域にわたりて道路改良工事が実施されています。本町に於て軸になります。本町の板戸地域は見違える様になり、蔵工区も現実のものとして眼に触れる様になりました。県道は、各

の完全実施の年になります。

これまで各学校では、教職員一丸となつて移行措置を考究してきましたところですが、それがスムーズに移行できるよう、教職員の特段の研修をお願いしているところです。ゆとり

がある充実した教育、人間性豊かな教育の実現を期待して

中学校では、五十六年度から新指導要領が実施され、高校入試が三教科から五教科に拡大されることになります。

従つて、教職員の免許教科のバランスが大事なことになり

ますので、この点十分配慮してまいりたいと思います。

年頭にあたり

教育委員長 佐藤松之助

新年おめでとうございます。

いつでも、誰でも、新年を迎えるにあたつては、今年こそよい年であるようにと願うのは、人情の自然であります。

八十年代の幕あけを迎えることになりました

が、政治的にも、経済的にも大へんな激動の時代にな

るような気がしてなりません。特に、物価高、石油危機等々

が廃止されるようなことになれば、教職員組織の充実強化の面から、大問題となることでしょう。右のような不安材料が解消されて、明るいよい年になることを熱望する次第です。

本年度から、小学校では新しい指導要領による教育課程



宿全景象



普通教室



視聴覚室



食堂

新校舎落成記念に

秋田宿会十万円
佐々木さん大時計 寄贈

新校舎落成を記念し、学校施設の充実に役立ててくださいと、秋田市の秋田宿会から十万円、大琴の佐々木通さんから防水大時計一コがそれぞれ宿小に寄贈されました。

同校では、こうした相次ぐご厚意に対し心から感謝するとともに、りっぱな児童を育てあげることでこれに応えた

老朽化著るしく危険校舎とみなされ、昨年から二ヵ年計画で全面改築がすすめられてきました宿小学校がこのほど

調理室は県内初の乾式工法採用

完成。十二月五日、町、議会、

教育委員会、中央教育事務所、由利出張所、工事施行業者、町内各団体長、宿地区自治会長、P.T.A.、現・前教職員、在校生、秋田宿会、町内各小中校長など、関係者二百五十人余りが出

席し、新築なつた暖房のきく体育馆において盛大に落

成式が行なわれました。

完成した校舎は、町内の小

学校では初の鉄筋コンクリート造の近代的な建物で、その建築に当つては、地元の要望を取り入れながら、校地・校舎の有効利用、採暖・遮熱効率、耐震・耐雪性のほか、随所に木材を使用、さらに、内外装ともに明るい色調で統一

(尚、今後国庫補助金の増額補正が行われる予定です。) 式典は十時三〇分に始まり、小松助役の工事報告に続いて建築設計を担当した田口正一級建築事務所、校舎棟の建築に当つた株式会社浅沼組、体育馆・給食施設の建築に当つた株式会社池田工務店、電気設備工事に当つた羽後電設工

十八万七千円で、この内、国県補助金が一億四千九百九十八万三千円、起債が一億九百四十万円、町費が五千六百五

十萬四千円となっています。

(尚、今後国庫補助金の増額補正が行われる予定です。)

式典は十時三〇分に始まり、小松助役の工事報告に続いて建築設計を担当した田口正一級建築事務所、校舎棟の建築に当つた株式会社浅沼組、体育馆・給食施設の建築に当つた株式会社池田工務店、電気設備工事に当つた羽後電設工

業株式会社、給排水・衛生設備工事に当つた山二施設工業株式会社にそれぞれ感謝状が贈られました。

このあと、小松町長が式辞、

豊島中央教育事務所由利出張所長、長沢町議會議長、佐藤教育委員長から祝辞が述べられ、さらに、斎藤宿小校長があいさつ。

ついで、在校児童代表に町長から記念品が贈呈され、最後に、児童代表の佐々木信幸君(六年)がお礼のことばを述べ、式を終えました。

このあと祝賀式に入り、児童による器楽合奏、大黒舞の唄と踊りも披露され、参会者全員が、同校落成を心から祝いました。

また、翌六日には、体育馆

において、宿小児童の合奏、うた、踊り、劇のほか、各部落の趣向をこらした踊りや唄、それに石綿梅清一行四名、秋田宿会有志による民謡など、盛りだくさん組み込まれた大演芸会が催され、地域住民あげて宿小落成を祝いました。

高館山のふもとに建てられた延床面積二、六四一平方メートルの明るい近代的な宿小学校は、次代を担う“心豊かな人間を育てる場”として、また、“地域教育文化の中心”として大きく発展することが期待されています。

なお、新校舎落成を記念し、旧校舎の古材を利用してP.T.A.、在校生、教職員が真心をこめて製作した旧校舎の全景を焼き込んだ絵馬が、宿地区全戸に配布されました。

53年度 特別会計決算を承認

町 消 防 団 員 の 報 酬 改 正

さるに、昭和五十三年各

されました。

町議會第八回定例會は、去
る十二月十五日に招集されま
した。

開會に統いて會期を同月二
十一日までの七日間と決定し

たあと、町長が町政報告、さ
らに四議員が、小学校統合問
題や道路改良整備、国保醫療
費の抑制、畜産振興事業など
について當局の考え方を質し、
會期第一日目を終了しました。

本會議二日目の十七日は、
東由利町消防團員の定員、任
免、給与、服務等に関する條
例の一部を改正する条例など
六議案を審議、いずれも原案
どおり可決しました。

このあと、昭和五十三年度
東由利町一般会計、同国民健
康保険事業勘定特別会計、同
簡易水道事業特別会計、同黑
淵診療所特別会計、同玉米財
産区特別会計それぞれの歳入
歳出決算の認定五件を上程、
審査を總務委員会に付託（各
常任委員会との連合審査で会
期五日目まで審査）して、会
期三日目を終了しました。

会期最終日の二十一日は、
町營土地改良事業の施行につ
いてなど六議案を審議、いず
れも原案どおり可決しました。

政告

須郷農道一期工事は完成

転作目標面積は128タック

町政報告を申し上げます。

水田利用再編対策転作目標
面積の明年度の本町への割当
は、すでに御承知と存じます
が、前年度比百六十一%の百
二十八公頃です。全水田面積に
対する比率は十一・二%とな
つており、これはちょうど県
の比率と同じです。

政府は、水田利用再編対策
におきまして、転作面積の目
標面積は「一期三年間固定の
原則」を示したのですが、に
たり三十六万五千円で、耕作
者にはちょうど百三十名ですの
で、一戸百万円という平均に
なつてある次第です。

また、反収の最高者は、二
次構造改善事業において本年
初めて耕作した石高の畠山孝
一郎君で、反当五十二万八千
四百二円という成績を納めて
います。

この第二次構造関係者の成績は、
当初の予想よりも非常に優良
として喜んでいます。契約です。

業の進捗状況を申しますと、
県の発注事業について申し

二次構は八十公頃。新農構は九
十公頃。地域農政整備は百公頃。
土地改良総合整備事業は、改
良の地盤関係が十分であります
せんので明春に実施する島宮
線の舗装を残し、ほかは全部
百公頃完成しています。ミニ總
合バイロット事業の進捗率は
約六十%。沢中線の道路改良
を主体にしました団体營草地
を開発事業は百公頃の完了です。

次に建設課関係について申
し上げますと、町道の新設改
良は、当初で九本予定したわ
けですが、一般諸般の事情か
らして五十五年度に繰り延べ
するのが一本、年度中に完成
するものが三本です。

舗装は、十一本計画してい
ますが、五十五年度に繰り延
べしたいものが二本、年度内
に完成予定のものが二本、他
は全部完成しています。

農道は、須郷農道の一期工
事は完成、二期工事が五十公
頃。林道は、ボツメキ線が取り
付け道路の変更等がありま
すので現在六十公頃の進捗率で
なっています。

以上をもつて町政報告を終
りたいと思います。

林道輕井沢線の町営の舗装
は、全部完成しています。
次に災害復旧事業ですが、
五十三年度災は町道、林道、
河川八カ所、全部完成してい
ます。尚、五十四年度災は河
川だけですが、六カ所あります。
河川だけですが、六カ所あります。
河川だけですが、六カ所あります。

町長が定めた時期

**【専決処分の承認を求めるこ
とについて】**
昭和五十四年度における公
有林整備事業に係る起債申請
について、起債限度額及び借
入利率の変更等すみやかに補
正を必要とするが、議会を招
集する暇がないと認め、「昭
和五十四年度東由利町一般会
計補正予算（第六号）」を專

**【団体營土地改良事業の施行
について】**

藏字釜坂地内十四・五公頃を、
昭和五十五年度から昭和五十
七年度までに圃場整備事業施
行するものとした。

【町営土地改良事業の施行の

上
げます。

石高農道の舗装は、全長約
四、〇〇〇mである中で、二工
区分分け、二、〇八〇mが完
成しました。

根小屋農免道路の一期工事
が六十公頃、二工区が五十公頃の
第一工区が九十公頃、第二工区
が五十公頃です。

開発事業は百公頃の完了です。

次に建設課関係について申
し上げますと、町道の新設改
良は、当初で九本予定したわ
けですが、一般諸般の事情か
らして五十五年度に繰り延べ
するのが一本、年度中に完成
するものが一本、年度中に完成
するものが一本です。

舗装は、十一本計画してい
ますが、五十五年度に繰り延
べたいものが二本、年度内
に完成予定のものが二本、他
は全部完成しています。

農道は、須郷農道の一期工
事は完成、二期工事が五十公
頃。林道は、ボツメキ線が取り
付け道路の変更等がありま
すので現在六十公頃の進捗率で
なっています。

以上をもつて町政報告を終
りたいと思います。

**【専決処分の承認を求めるこ
とについて】**
昭和五十四年度における公
有林整備事業に係る起債申請
について、起債限度額及び借
入利率の変更等すみやかに補
正を必要とするが、議会を招
集する暇がないと認め、「昭
和五十四年度東由利町一般会
計補正予算（第六号）」を專

決処分したもの。

**【昭和五十四年度町営土地改
良事業の経費の賦課基準等を
定めることについて】**

昭和五十四年度施行の土地
改良総合整備事業法内地区並
びに宮上地区圃場整備事業に
係る経費の賦課基準等を次
とおり定めた。

造改善事業により、海瀬地区で四・五沢の草地造成、合せて取付道路及び橋梁一ヵ所を整備、ヤズマ地区で十一・三沢のかんがい排水事業をそれぞれ施工するものとした。

【昭和五十四年発生災害農地等災害復旧事業の施行について】

昭和五十四年九月三十日から十月一日発生した台風十六号の災害に係る農地及び農業施設災害復旧事業を、次の地域で施行するものとした。

- ・宿宇湯の沢地内（田）
- ・宿字土場沢地内（田）
- ・黒瀬字笹倉地内（用水路）
- ・杉森字沼地内（農道橋）
- ・宿字湯の沢地内（排水路）

【昭和五十四年度東由利町一般会計補正予算（第七号）】

歳入歳出予算の総額からそれぞれ四千八百十二万八千円を減額し、歳入歳出それぞれ十九億五千二百五十五万九千円とした。

歳出補正の主な内容は次のとおり。

- ・保育所事業補助措置費 三百八十八万六千円
- ・永慶保育園建築事業補助金 三百万円
- ・水田利用再編推進補助金 七百三十六万二千円
- ・団体営圃場整備釜坂地区全体設計委託料 二百七十八万二千円
- ・第二次農業構造改善事業費補助金 六千四百九万円
- ・除雪トラック購入費 九十万円
- ・徴収時期
- ・町長が定めた期日

【一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例】

人事院の勧告に基づき、国家公務員の給与法が改正されたのに準じ、町一般職の職員の給与及び手当を改正したので、五十四年四月一日にさかのぼって適用される。

【東由利町消防団員の定員】

任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正

消防団員の報酬を改正した

もので、報酬月額は團長が五万円、副團長が四万円、分團長が三万円、副分團長が二万三千円、部長が一万八千円、班長が一万五千円、團員が一万三千円となり、五十四年四月一日にさかのぼって適用される。

易水道事業特別会計補正予算（第二号）】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百二十九万六千円を追加し、歳入歳出それぞれ二千六百九十五万五千円とした。

陳情・請願等

四 議 員 が 一 般 質 問



統合問題など

十項目を問う

長谷山一郎議員

玉米小建築調査費の進捗状況は。

老方地区住民を中心とする住民運動との対話、また、これに対する当局、教育委員会の対策は。

老方地区住民を中心とする教育委員会案は、一つの試案とすべきで、どこに点をおろすかは、もつと両地区（法内を含めた）の協議、話し合いを重ねるべきではないか。その上で用地の話し合いをするべきでないか。

老方、藏の統合校舎の地点について教育委員長は：

老方地区住民を中心とする住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

玉米地区住民の考え方、住吉小地区住民との対話の結果は。

・玉米小学校校舎新築の即時徹回と宿、袖山両小学校を除く残校一校統合小学校建設について……不採択

- ・戦後強制抑留者補償に関する件について……採択
- ・教職員定数の最低保障率存続に関することについて……継続審査

冬季分の除雪を万全にしてくださることについて……継続審査

- ・非核三原則を法律にするためについて……採択
- ・普及事業の縮小等に対する阻止対策について……採択

・住吉小学校と玉米小学校との統合について……採択

・稲荷小路を町道に認定の上

・道として機能していくても、一方では、ほとんど町道の認定がないが故に整備の遅れが著るしいものがある。認定出来るものは、出来ないものは、「町単独」の制度が考えられないか。

・稲荷小路を町道に認定される資格、又必要があるかを検討し、認定すべきものは認定し、又、農林省サイドの整備事業に入れるものは入れ、国の制度にも入らないものについては、町単独の産業道路の分野で整備していくべきと考える。但し、産業道路の場合は、百石町が負担できないといふ点については、行政の基本等から理解してほしい。

できる限り、町民の要望、期待に沿うよう、乏しい財政の中で努力しているということは理解してほしい。

54・10・15発行の「増え続ける国保医療費の抑制について」の主旨は理解するが、表現がむき出しだではないか。このパンフレットを作成した意図は、

【易水道事業特別会計補正予算（第二号）】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二十六万二千円を追加し、歳入歳出それぞれ三億七千七十八万二千円とした。

【教育委員長】

両地区の意向がスムーズに出来上っていくことを期待している。校地が狭いといふことなので、できるだけ拡張して頂くよう、当局を考えている。

【教育委員長】

あまり国、県道から遠くない地点に適当な土地が得られるとなれば、それでもいいのではないかと申し上げていたはずです。

今後、両地区の方々との話を共通理解の場を持ちかねていない。老方地区の集会にも委員が出ていているし、老方地区の代表的な方々と教育委員会との話し合いも持っている。そこで話し合いも持つていて、これは誠に残念に思う。皆さんのご理解とご協力を求めながらこれを進めていきたいと考えている。

し合いを持つような機会を求めていかなければならぬと考えている。

一つの制度事業の中に加入すると私道や農道まで住民負担なしに整備できる。が一方では、ほとんどの町道として機能していくても、町道の認定がないが故に整備の遅れが著るしいものがある。認定出来るものは、出来ないものは、「町単独」の制度が考えられないか。

・稲荷小路を町道に認定の上

・道として機能していくても、一方では、ほとんど町道の認定がないが故に整備の遅れが著るしいものがある。認定出来るものは、出来ないものは、「町単独」の制度が考えられないか。

・稲荷小路を町道に認定される資格、又必要があるかを検討し、認定すべきものは認定し、又、農林省サイドの整備事業に入れるものは入れ、国の制度にも入らないものについては、町単独の産業道路の分野で整備していくべきと考える。但し、産業道路の場合は、百石町が負担できないといふ点については、行政の基本等から理解してほしい。

できる限り、町民の要望、期待に沿うよう、乏しい財政の中で努力しているということは理解してほしい。

54・10・15発行の「増え続ける国保医療費の抑制について」の主旨は理解するが、表現がむき出しだではないか。このパンフレットを作成した意図は、かも知れないが、国保財政の運営上、そうした表現をした

ものと思う。この点は理解してほしい。今後、表現の工夫、文書の配付については充分気をつけさせていただきたい。

医療費の支払が十万円

以上の世帯の現状を把握しているのか。

住民課長 文書配付時点では国保全被保険者世帯の約六十七戸に当る八百九世帯だった。

町の保健活動と国保税の増高の関連において、保健婦、ホームヘルパーの活動のあり方、集落にいる保健推進員活動の効果を再検討してみたらどうか。

また、保健推進員の選こうは、自治会であるか、婦人会であるか。

住民課長 保健婦は、町全体住民の保健推進の為に働いているし、ホームヘルパーは、在宅寝たきり老人、寝たきり身障者などの方々の訪問を受け持っている。

保健推進員は百二十九名おり、それぞれの自治会によって選出の方法は違うようだが、各自治会の中で推選、あるいは決められたものと理解し、町長の委嘱状を交付、それぞれの保健推進事業に全面的に協力してもらっている。

高額医療費を防ぐ上で、病気の早期発見、早期治療の面からも、皆検診、集団検診等の予防活動に重点を置くべきと思うが。

住民課長 保健推進員の協力

を得ながら推進しているところだが、該当者の方々の理解が薄いというか、期待するだけの受診率があがっていない。

今後は、実態をよく把握し、受診率が上がるよう努めていきたいと思っている。

増え続ける国保医療費という問題解決のために



小学校統合問題

長谷山 喜市郎議員

小学校統合について年度当初より町長案を示し、住民との充分な対話を持ち、議会でも実施計画について具体的に研究協議を重ねるのが当然であるにもかかわらず、なぜあのような強引な措置をとられたのか。

町長 昭和四十八年十二月定期議会の小学校統合問題調査推進特別委員会委員長の報告からすでに六ヵ年経過し、二年前の宿小建築當時からも三校統合の方向が形成されたと

教育委員会の任免については法規が示す如く、町長は、委員としての適否を考え議会に提案し、決定され、現在の委員会が構成されている。

学校統合に関しては、他町村の例を見ても全会

小学校統合について問題を抱えることがあるが、

教育委員会案を尊重する

という根拠と、教育委員及び委員長の任免に対する

町長の考えは。



畜産振興事業

畑山 清一議員

案として尊重し、次に、内容が適當であるかどうかを首長として判断しなければならないと考える。町民多数の理解を得ることができるものと判断し、議会に提案した。

しかし、どうしても意見が一致しない時は、会議規則に従つて決を取らなければなりません。

一致しない時は、会議規則に従つて決を取らなければなりません。しかし、どうしても意見が一致しない時は、会議規則に従つて決を取らなければなりません。

一致しない時は、会議規則に従つて決を取らなければなりません。

一致が望ましいといわれる中で、今回、委員会のとつた措置について委員会としてはどう考えているか。

牧道については、草地組合による経営上の問題から、由利優性研究会準備会の認定した優良基礎牛や島根導入優良牛から生産され、東由利牛の基礎牛として期待され、飼育されてきた子牛を手離す農家が、最近見受けられるという。畜産農家の経営

の安定の面からも、こうした優良牛を町内に保留下いくような対策を講じなければならないと思うが。



小学校統合問題

藤原 虎之助議員

小学校統合問題について問題に対する最近の住民感情を、どう受けとめておこしている原因の統合

問題に対する最近の住民感情を、どう受けとめておこしている原因の統合

いろいろな問題をひき上げないが、学校統合の問題で不祥事がおきたとしたならば残念だと考えている。大

不祥事については、私はどういふことがおこったかは存じ上げないが、学校統合の問題で不祥事がおきたとしたならば残念だと考えている。大

利用度の問題を考えると、まだ整備の必要があると考へるが。

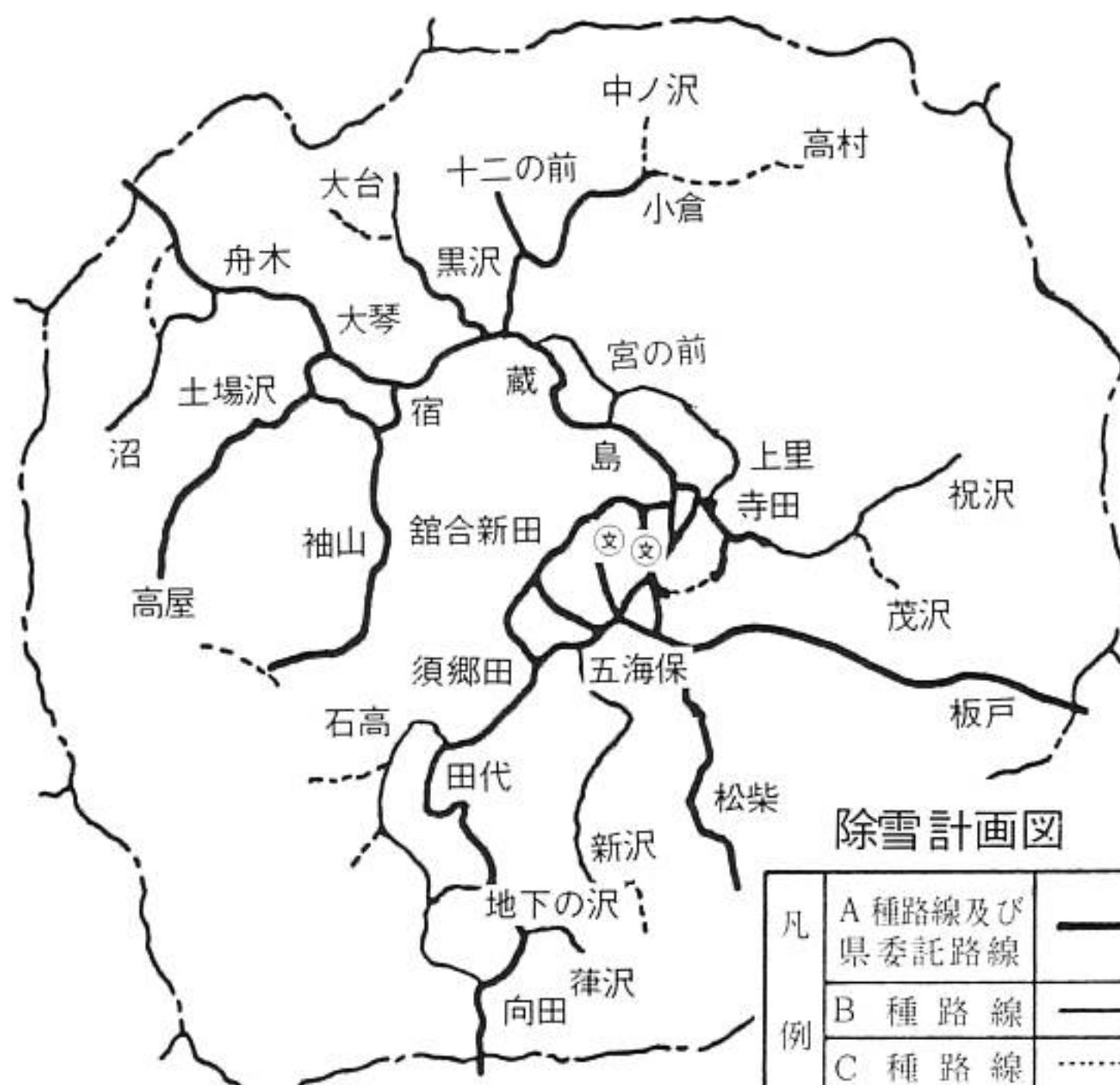
産経課長 家畜のし尿処理については、地力増強の面からも、草地あるいは水田利用再編対策の転作田に還元ということで、尿処理のバキューム

危険校舎の改築、学校給食の

教育長 現在考えている三校

最後に、現在の構想に依る三校案は、最近の住民感情から考えた場合、実現不可能と思うが。

教育長 現在考えている三校



除雪計画図

凡 例	A 種路線及び 県委託路線	—
	B 種路線	—
	C 種路線

いよいよ冬本番—スキーヤーには待ち遠しい雪も、積もり積もると、交通の途絶や混乱を引き起こし、わたしたちの暮らしや産業、経済活動を足元からおびやかします。

町では、こうした混乱を防ぎ、雪から住民生活を守るために、今冬、古くなつたブルドーザー一台を廃車し、新たに

除雪戦力を一段と強化

ロータリートラック一台、除雪トラック一台を購入して除雪戦力を一段と強化、オペレーター（運転手）十一名、ブルドーザー三台、ローダー四台、グレーダー一台、ロータリー二台、雪上車一台、除雪トラック一台、ダンプトラック一台の計十三台を配置し、万全の計画で除雪対策にあたること

スムーズな除雪に協力を

除雪をスムーズに行なうには、どうしても町民の皆さんとの協力を必要とします。

毎年いろいろとお願ひしていますが、今年も次のような

本荘由利六高校生活指導連絡協議会（理事長畠沢潤一仁賀保高校長）では、次のような「高校生の冬休み生活心得」を作り、長期の休みという解放感から起りがちな事故、非行を防止し、生徒の健全育成を図るため、地域の方々の理解と協力を望んでいます。

生活一般

1、夜間外出はしない。やむを得ず外出する場合でも午後九時までには帰宅する。

2、外泊は厳に慎み、やむを得ない場合は保護者同士の同意を得る。

3、酒、タバコ、シンナー等

4、性宅訪問など

5、服装、容姿は乱さず、頭髪は特殊な形にしない。（パーマ・リーゼント、額の深い剃りなど）

6、金銭の浪費、非行につな

高校生の冬休み生活心得

本荘由利六高生活指導連絡協

1、故の多発が予想されるので、交通安全には十分気をつけ

2、自転車の点検、整備について事故防止をはかる。

3、バイクの運転は慎む。

4、手をつけない。

5、交友は健全なものであること。異性との交友は軽率にならぬよう努める。特に女子は、不用意に誘いにの

い。

交通安全

1、冬期間は、積雪、凍結などで道路状況が悪化し、事

アルバイト

1、学校の許可を得ること。
2、自動車、バイクを使うものや、夜間労働、酒を用いる職場、重労働は禁ずる。

同級会

1、学校の許可を得て参加すること。
2、場所は原則として出身中学校とし、恩師の参加の会であること。

3、酒を用いる会には出席しない。喫煙は決してしない。

4、時間は、夕方までには終ること。

冬将軍に万全の備え

点について特にご協力をお願いします。

- 路上には、違法駐車や故障車の放置はしないでください。

道路上に置いてある建設、建築資材等は速やかに除去してください。

- 皆さんが除雪した各戸の出入口に除雪車が雪を置いていく苦情はわかりますが、公共交通を考えて各戸で取り除いてください。

昨年に続き、雪も少なく、異常ともいえる暖かさで明けた新年も、雪との戦いはこれからが勝負です。ともすればとじこもりがちな冬の季節を、少しでも快適に過ごせるよう、お互いに心がけましょう。

なお、除雪に対する問い合わせは建設課へ。

- 道路の除雪は、自治会などで協力して行い、歩行者や自転車の安全を図ってください。

がる遊技やゲームは自粛する。

- 歩道の除雪は、自治会などで協力して行い、歩行者や自転車の安全を図ってください。

○ 冬期間の自動車運転には、タイヤチェーン、スコップ、長靴、防寒具等の装備をお忘れなく準備してください。

このほか、木の枝など除雪作業に支障のあるものについては、係の職員が切り落しますので、ご協力ください。

昭和53年度
町の台所より

こう使われた!

一般会計 21億8千4百万円

豊かな暮らしをめざして
…農林水産業・商工…

町では、主産業である農作物の安定生産を目標に、集落農場化をはじめとして各生産集団の育成を図りつつ、二次農構やミニ総合事業、地域農政特別対策事業、団体営草地開発事業等、農業生産基盤の整備や近代化、農村集落環境の整備をめざした事業が積極的に進められました。

また、農家の過剰投資を抑え、稲作の機械化一貫体系の確立を図ろうと、東由利農協が事業主体となり、二次農構事業でライスセンターを建設。町農業史に新たな1ページを書き加えました。

- ・農村基盤総合整備………70,700千円
- ・第二次農業構造改善………535,262千円
- ・団体営草地開発………22,648千円
- ・水田利用転作促進特別対策事業
……………17,909千円
- ・地域農政特別対策事業………15,924千円
- ・特用樹林造成事業………3,178千円
- ・公有林整備………17,709千円
- ・牧道・産業道路整備………5,000千円
- ・良質材生産振興………2,575千円
- ・葉たばこ振興………702千円
- ・簡易給水施設整備………30,189千円
- ・水産振興………1,095千円
- ・町商工会補助………1,500千円
- ・町森林組合負担金………822千円

環境の整備と安全に
…土木・消防…



日常生活のうえで、道路の整備はかかせない重要なことであり、生活環境の改善と経済のささえとして強い要請となっています。

町ではこの道路整備を53年度の重要施策の一つに掲げ、公共性や利用度をみきわめ、国県の各制度を徹底的に活用し、幹線網の整備を促進させるとともに主要路線の全線

建設事業に総額の六割
会一 計般
七千四百万円の黒字

十二月十五日から七日間にわたって開催された十二月定期議会で、昭和五十三年度の各会計の決算が承認されました。

五十三年度の一般会計の決算額は、歳入で前年度決算を

三十八・八倍も上回る二十三億五千八百五十八万三千円の大額決算で、七千四百十二万九千円の繰越しを残しました。

町税、交付税の自然増、宿小学校、多目的研修集会施設の建設などに伴なう補助金、

町債の増加などが、歳入の伸びた要因。これにより、歳出も農業生産基盤の整備や道路の改良、新設を始め、教育施設、生活環境施設の整備などを各分野にわたって、豊かな、住みよい町づくりをめざします。

以下、その内容をお知らせします。

- ・農免農道開設負担金………13,700千円
- ・軽井沢線舗装………3,631千円
- ・杉森線開設………16,910千円
- ・新沢線改良舗装………36,342千円
- ・湯出野線改良………20,650千円
- ・藏上里線舗装………14,225千円
- ・新田線舗装………4,630千円
- ・大谷地線改良・舗装………18,038千円
- ・十二の前線改良・舗装………13,332千円
- ・黒瀬線改良………7,220千円
- ・山谷橋架替（永久橋）………15,368千円
- ・新田線改良………14,800千円
- ・久保線改良舗装………3,600千円
- ・石塚橋架替（永久橋）………12,219千円
- ・塚の越線改良・舗装………3,900千円
- ・明通線舗装………1,125千円
- ・公共施設駐車場整備………32,936千円
- ・消防施設整備………31,030千円

一般会計

歳 出 歳 入

性質別	額	総額
人件費	12.3%	21億8,400千円
物件費	8.0%	1,792千円
維持補助費等	11.0%	2,384千円
扶助費	6.3%	1,385千円
普通建設事業費	59.6%	12,611千円
町債	(17.8%)	4,029千円
災害復旧事業費	1.9%	783千円
繰出金、投資及び出資金	0.9%	108千円

玉米財産区会	黒瀬診療所会	簡易水道事業会計	国民健康保険事業会計
歳入	四百六十七万円	歳入 三億八千五百九十六万円	歳入 三億六千四百六十万円
歳出	百四十三万円	歳出 三億六千四百六十万円	歳出 二千百三十六万円
差引残額	三百二十四万円	差引残額 二千七十八万円	助産費や育児手当、葬祭費、高額療養費の給付などがこの会計で行われています。(助産費六万円、育児手当五千円、葬祭費二万円、高額療養費は、月三万九千円を越える分の医療費を国保が負担。)
黒瀬地区住民の健康の保持・増進のため に経営されている同診療所の医療費、施設 管理費などが主なもので、町の開業医が交替で毎週木曜 日の午後、診療にあたっています。	東由利水道、鎌合水道、大琴水道の三水 道の水質保全や施設の管理、運営、水源確 保等、生活用水を供給するための事業が行われています。	老人・乳幼児の医療費無 料化や保育所事業の充実など、福祉制度と施設の充実 を図ってきました。 保健衛生面では、住民の 健康を守るための各種検診、 予防事業などが行われました。	町には、一般会計のほかに独立した四つの会計があり、 それぞれ町民のみなさんの便宜を図るために事業を行つ ています。これを「特別会計」といい、国の補助金や税 金、使用料、手数料、一般会計からの繰入金などで運営 されています。

九一翁）を良好に維持・管理するためのものです。

住民サービスの行政を …議会・総務…

本荘・由利の各市町村で組織している広域圏組合の事業（ゴミ・し尿処理、老人ホームの経営など）と、町独自の事業との組み合せの中で、住民本意の行政が進められました。

- ・広域市町村圏組合負担金13,830千円
- ※一般事務局費負担…… 1,542千円
- ※老人ホーム（養護・特別養護・軽費）分担金…… 1,901千円
- ※ゴミ・し尿処理事業負担…… 10,387千円
- ・町報発行費…… 2,582千円
- ・財政調整基金積立て…… 31,558千円
- ・庁舎施設工事請負費…… 12,769千円
- ・小松兄弟音楽顕彰碑建立補助金…… 3,500千円
- ・部落交付金…… 2,631千円



健康と幸せを願って …民生・衛生・労働…

老人・乳幼児の医療費無料化や保育所事業の充実など、福祉制度と施設の充実を図ってきました。

保健衛生面では、住民の健康を守るための各種検診、予防事業などが行われました。

- ・町社会福祉協議会負担金… 2,773千円
- ・老人家庭奉仕事業委託料… 2,343千円
- ・老人居室整備資金貸付… 3,000千円
- ・老人医療…… 31,488千円
- ・福祉医療…… 6,659千円
- ・保育所措置費補助金…… 37,222千円
- ・児童手当…… 9,568千円
- ・循環器検診委託料…… 1,336千円
- ・胃・婦人科検診委託料… 2,616千円
- ・レントゲン検診委託料… 1,069千円
- ・ごみ収集委託料…… 4,433千円
- ・出かせぎ援護対策費…… 4,355千円



教養と文化の町に …教育…



学校教育では、「心豊かな人間づくり」を目標に、着実な歩みを続けるとともに、老朽危険校舎解消・教育環境施設の充実のため、2カ年計画で宿小学校を全面改築することとし、53年度は校舎棟の完成を見ました。

一方、社会教育関係では、分館活動の一層の充実を図りつつ、社会教育の向上をめざした各種学級や講座が開設されました。

また、52年から旧下郷中学校跡地に整備が進められてきました。横渡運動場が完成しました。

- ・宿小学校改築…… 171,640千円
- ・横渡運動場整備…… 11,257千円
- ・小・中学校管理費…… 82,075千円

▼審査の主眼

決算審査は次の事項を主眼として行なった。

一、計算に間違いがないかどうかについて

二、実施の収支が支出命令に符号しているかどうかについて

三、予算の定める目的に従つて的確に執行されているかどうかについて

四、事務事業が最も効果的、経済的、合理的に執行されているかどうかについて

五、収支の均衡がどれた堅実にして計画的な財政運営が行われているかどうかについて

六、財政構造は健全に維持されているかどうかについて

七、会計間の独立性は、おかされていないかどうかについて

▼結論

昭和五十三年度一般会計及び各特別会計について決算はその計数に誤りがなく、証書類も整理され会計経理はほぼ完全である。

また總体としては、前年度同様厳しい財政環境下の中でも積極的に事業を推進され、住民福祉向上に努力し、新しい時代への速やかな対応を図ることを得たことに敬意するものである。

しかし、黒字で繰越はできたとはいえ、町財政は極めて厳しいものがある。このような情勢から、今後において、行政のあり方について徹底した見直しを進め、新しい時代への重点的かつ効率的な配分を図るとともに公正な判断のもとで財政の努力をお願いする。

以上、昭和五十三年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに証書類の審査を終了し、適正なものと認める。

決算審査報告（概要）

代表監査委員 小 番 鉢 平

るためです。尚、金額では減少しながら割合で増加しているのは今期の予算総額が前年同期に比べて一億六千五百九十一万七千円、七・七割の減となっています。

この予算のうち、四月から九月までの収支状況を見ますと、予算額に対して歳入は三十六・七割が収入済。また、歳出では二十九・六八%がすでに支払われています。

これを前年同期と比較してみると、歳入の金額では二千七百三万九千円の減、割合では一・六八%の増となっています。

この予算のうち、四月から九月までの収支状況を見ますと、予算額に対して歳入は三十六・七割が収入済。また、歳出では二十九・六八%がすでに支払われています。

昭和五十四年度一般会計当初予算額は、歳入歳出とも十九億二百九十二万二千円でした。その後四回にわたって八千二百七十六万六千円が補正され九月末日現在では十九億八千五百六十八万八千円になっています。

昭和五十四年度一般会計の町財政の概況を報告します。

一般会計

八千一百万円
を追加補正



予算額に対する収入済額の状況



総額

予算額	1,985,688千円
収入済額	728,733千円
	(36.7%)

繰入金	予算額	38,000千円
	収入済額	0千円
		(0 %)

町税	予算額	121,322千円
	収入済額	68,720千円
		(56.6%)

繰越金	予算額	74,226千円
	収入済額	74,129千円
		(99.9%)

地方交付税	予算額	695,198千円
	収入済額	520,814千円
		(74.9%)

町債	予算額	359,700千円
	収入済額	600千円
		(0.2 %)

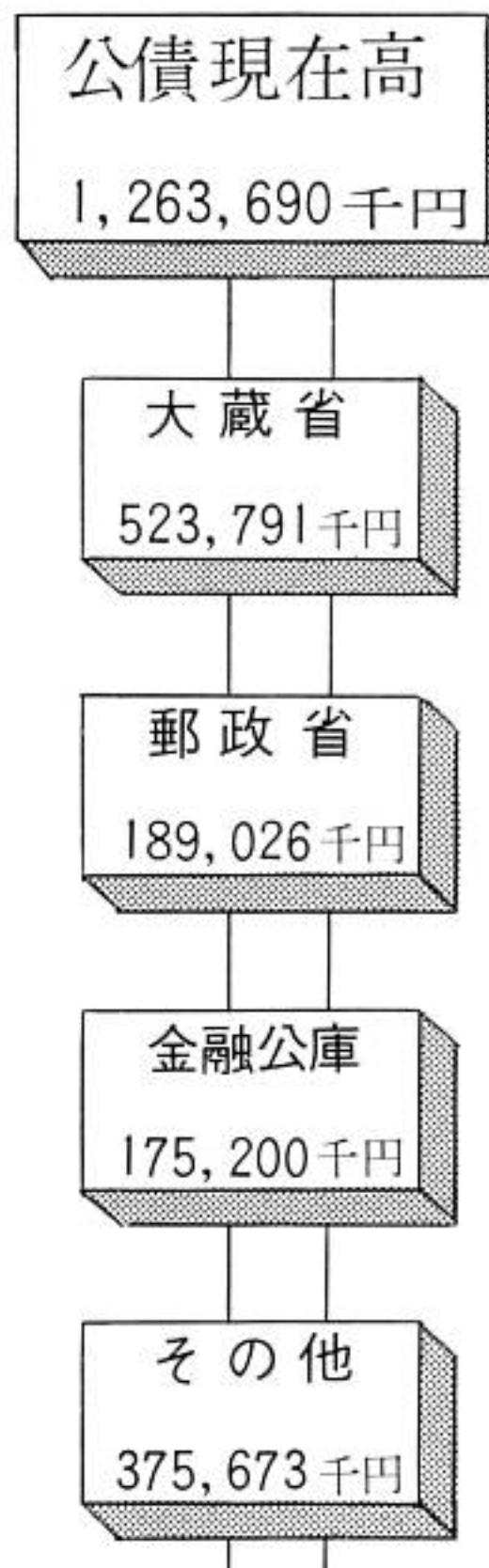
国庫支出金	予算額	191,271千円
	収入済額	21,338千円
		(11.2%)

その他の収入	予算額	99,290千円
	収入済額	37,450千円
		(37.7%)

県支出金	予算額	406,681千円
	収入済額	5,682千円
		(1.4 %)

町有財産	基金	260,652千円
	財政調整基金（一般）	155,907千円
	国保財政調整基金	64,808千円
	簡易水道財政調整基金	13,527千円
	土地開発基金	20,000千円
	高額療養費貸付基金	3,000千円
	中小企業振興基金	2,000千円
	奨学資金貸付基金	1,010千円
	国民年金印紙購入基金	400千円

町有財産	土地	7,044,700m ²
		(うち山林 1,262,937m ²)
	建物	27,407 m ²
	有価証券	1,470千円
	出資による権利	7,133千円
	自動車、ブルドーザー等	25台



着実にすすめられています。盤や生活環境等の整備、住民づくりをめざした各事業が、福祉の向上など、豊かな町づくりをめざしては、産業基盤も順調にすすんでいます。未までに発注され、その後の発注も順調にすすんでいます。一方、四月から九月までに支出された金額は五億八千七百二十四万二千円となっています。

款項別の支出済額の割合をみると、消防費が六十億を越えており、次いで公債費、総務費、議会費、衛生費、民生費が四十億台となっていますが、農林水産業費や土木費などの建設事業の支出がまだのため、全体では二十九・六%となっています。

一方、四月から九月までに支出された金額は五億八千七百二十四万二千円となっています。

以下、繰越金の七千四百十
二万九千円、町税の六千八百
七十二万円、国庫支出金の二
千百二十三万八千円、県支出
金の五百六十八万二千円の順
になっています。

四月から九月までの総収入
額は七億一千八百七十三万三
千円で、このうち、一番大き
な割合を占めているのが地方
交付税の五億二千八十一万四
千円です。

歳出の状況

予算額に対する

支出済額の状況



総額

予算額 1,985,688千円

支出済額 587,242千円 (29.6%)



土木費

予算額 302,987千円

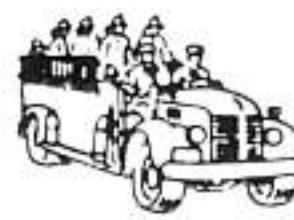
支出済額 81,693千円 (27.0%)



議会費

予算額 36,789千円

支出済額 17,277千円 (47.0%)



消防費

予算額 102,033千円

支出済額 66,419千円 (65.1%)



総務費

予算額 192,873千円

支出済額 90,874千円 (47.1%)



教育費

予算額 273,915千円

支出済額 89,083千円 (32.5%)



民生費

予算額 154,953千円

支出済額 63,405千円 (40.9%)



旧灾害復費

予算額 40,922千円

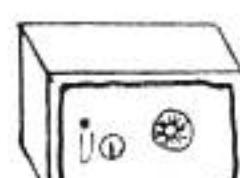
支出済額 12,714千円 (31.1%)



衛生費

予算額 52,366千円

支出済額 21,834千円 (41.7%)



公債費

予算額 130,921千円

支出済額 64,446千円 (49.2%)



労働費

予算額 4,787千円

支出済額 225千円 (4.7%)



諸支出金

予算額 3,096千円

支出済額 1,173千円 (37.9%)



農林水産費

予算額 656,188千円

支出済額 75,227千円 (11.5%)



予備費

予算額 3,585千円

支出済額 0千円 (0%)



商工費

予算額 30,273千円

支出済額 2,872千円 (9.5%)

玉米財産区特別会計

予算額 983千円
収入済額 3,243千円
支出済額 156千円



簡易水道事業特別会計

予算額 24,659千円
収入済額 11,719千円
支出済額 7,114千円



黒渕診療所特別会計

予算額 2,334千円
収入済額 1,112千円
支出済額 740千円



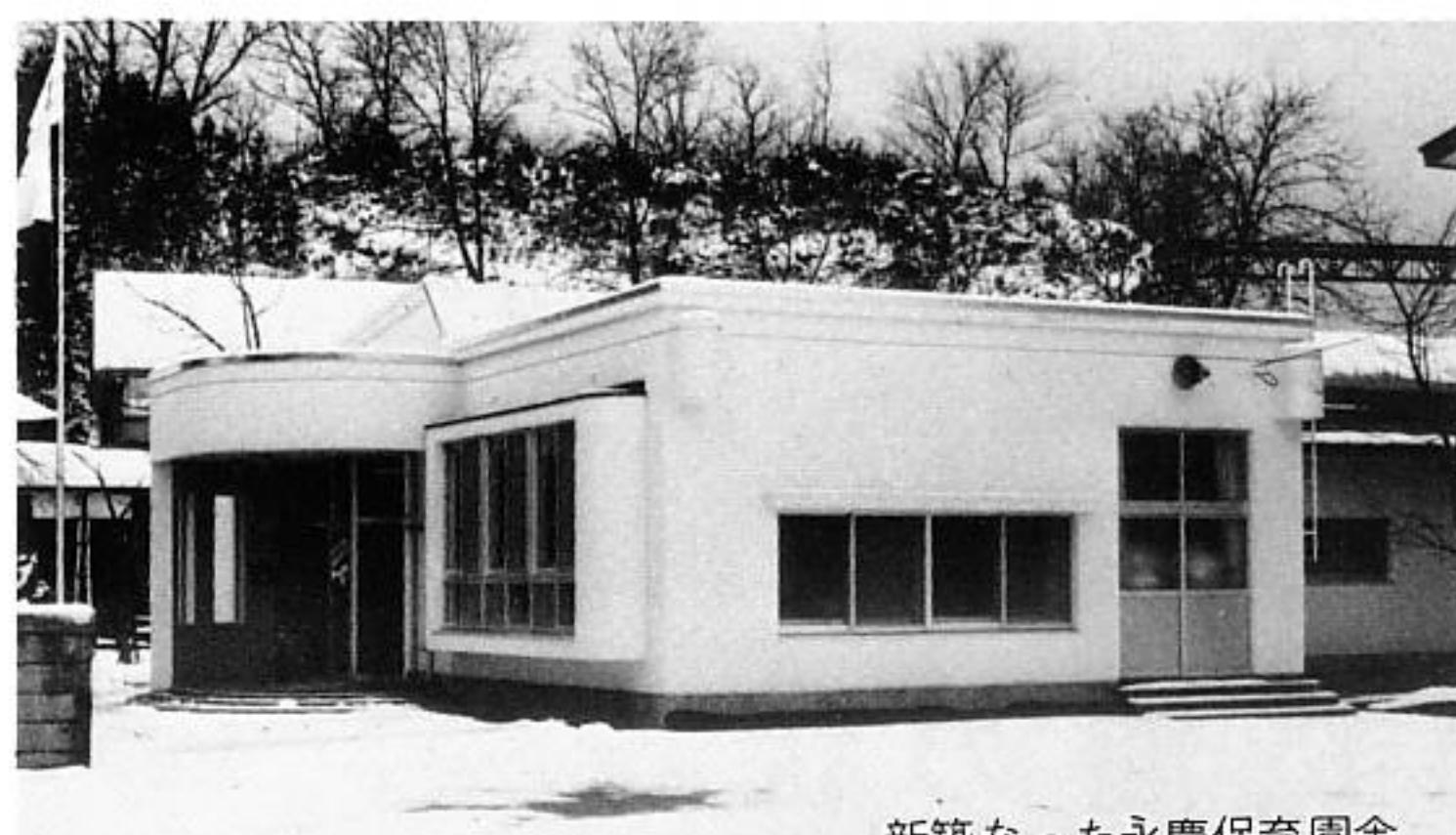
国民健康保険特別会計

予算額 370,520千円
収入済額 136,060千円
支出済額 133,004千円



特別会計の状況

永慶
保育園 新園舎が完成



新築なった永慶保育園舎

社会福祉法人蔵立会が七月から改築をすすめ、永慶保育園がこのほど完成。十二月十一日、同園遊戯室において、法人役員、来賓、工事施行業者、父兄、園児ら約二百五十名が出席し、盛大に落成式を行いました。

同園は、昭和三十三年五月村当局から旧部長派出所の払下げを受け建てられたもので、老朽化著るしく、関係者からは、早期に改築をの声が村当局から出されました。同園は、昭和三十三年五月から、早期に改築をの声が村当局から出されました。

強く出されていたものです。完成した園舎は、面積三六リート平屋建で、事務室、医務室のほか、乳児室一、保育室三、保母休憩室、ボイラ室などが配置され、建築に当つては、各室内の色を変えるなど幼児心理を充分に配慮した近代的な建物となっています。

総事業費は五千三百七十二万四千円で、その財源内訳は、国県補助金が三千百三十八万九千円、町補助金が一千二百三十三万五千円、借入金が一千万円（但し、返済については町が全額負担する）となっています。

落成式では、

理事長の式辞、

来賓祝辞、園長

あいさつにまじ

つて、園児を代

表して年長組の

小松晃ちゃん（六歳）が「先生

やおとうさん、

おかあさんの言

うことをよく聞いて、このりつ

量は、わずか二時間足らずでこうして集められたゴミの量は、わずか二時間足らずであります。新園舎は、面積三六リート平屋建で、事務室、医務室のほか、乳児室一、保育室三、保母休憩室、ボイラ室などが配置され、建築に当つては、各室内の色を変えるなど幼児心理を充分に配慮した近代的な建物となっています。

2時間でゴミ袋40に

=手をつなぐ親の会=

バイパスで空きかん拾い



ジュースの空きかんなどを一つひとつビニール袋に

特に、館合バイパス八日町交差点信号機隣りに建てられた「ゴミのないきれいな町」の看板が、「...空きかんの多いことでも捨てられてきた」と、作業に当つた会員を驚かせています。

四十袋にも及び、いっぱいあるもんだなア」と、作業に当つた会員を驚かせています。

特に、館合バイパス八日町交差点信号機隣りに建てられた「ゴミのないきれいな町」の看板が、「...空きかんの多いことでも捨てられてきた」と、作業に当つた会員を驚かせています。

四十袋にも及び、いっぱいあるもんだなア」と、作業に当つた会員を驚かせています。

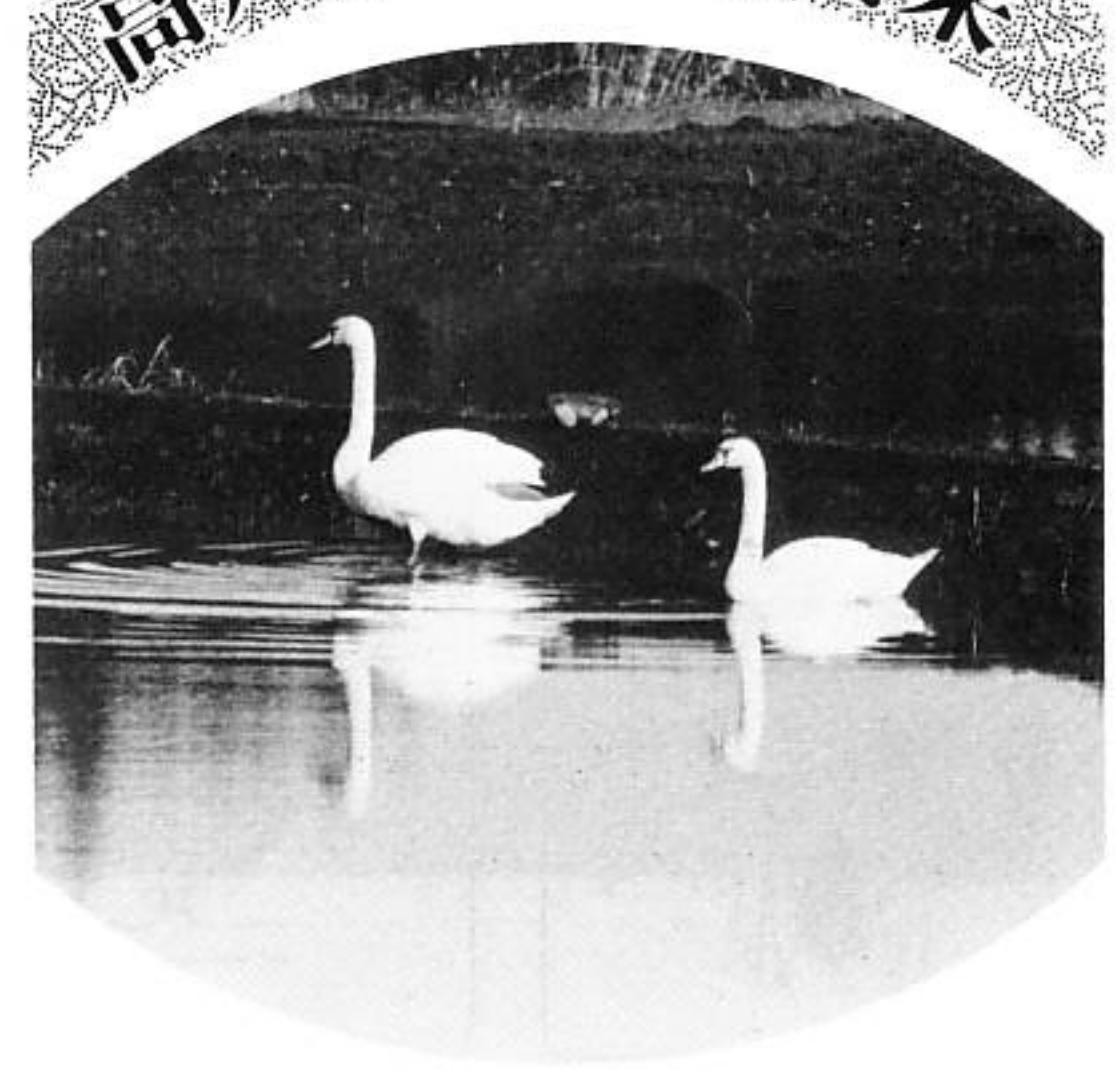
袋などを準備し、いっぱいになつたら道路公園等のゴミ箱にでも捨てるようにしてほしい」と話していました。

一度失つた美しい自然は、簡単に元には戻りません。一人ひとりがお互いに注意し合つてきれいな自然を守りましょう。

ハクチョウが来たゾ……去る十一月二十七日早朝、高戸屋の県営圃場整備施行地内の水田に二羽のコブハクチョウが飛来し、近所の人々の目を楽しませてくれました。



このハクチョウ、圃場整備で代かき整地のため水を張つていた田んぼを、湖沼と見間違えて一休みしたものらしい。



ばな園舎に負けないよい子になります。新しい園舎ありがとうございました。」と元出席者からひときわ大きい拍手が贈られていました。

人間の成長段階において、うした大事な幼児を預かる保育園の果たす役割には大きな期待が寄せられています。ものがあり、地域住民からも大きな期待が寄せられています。

幼児期における保育、教育が人間形成の上からも特に重要なと言われる今日、次代を担うこ

